



WIFがエンターテインメント界で「道を切り開く」女性たちを称える2022年WIFオナーズを開催

キンタ・ブランソン、デデ・ガードナー、ジョディ・カンター、キャリー・マリガン、ジーナ・プリンス＝バイスウッド、ケイティ・シルバーマン、メーガン・トゥヘイ、オリヴィア・ワイルドがクリスタル・アワードを受賞

リリ・ラインハートがWIF マックスマラー フェイス・オブ・ザ・フューチャー・アワード®を受賞

ジェーン・フォンダがジェーン・フォンダ・ヒュマニタリアン・アワードを授与

カリフォルニア州・ロサンゼルス（2022年10月28日） - WIF（ウィメン・イン・フィルム、ロサンゼルス）は、昨夜、エンターテインメント業界で「道を切り開く」女性たちを讃える2022年WIFオナーズを開催し、ハリウッドをより良い方向へと転換させる基盤づくりに貢献している優れた女性たちを表章しました。マックスマラーでは、19年前からスポンサーを務めており、ビジョナリーパートナーのシヴァンズ・ピクチャーズとレクサス、メジャーパートナーのスターズと共に同イベントをサポートしています。毎年給付される助成金は、WIFの教育・慈善プログラムおよび業界全体の男女平等のためのアドボカシー活動を支援するために使われています。イベントでは、エンターテインメント業界でのハラスメントや虐待、差別などを経験した人たち向けにリソースとサポートを提供するため、2017年に設立されたWIFヘルプラインへのNBCユニバーサル（NBCUniversal）からの25,000ドルの寄付を含む、75,000ドルを超える金額が寄付されました。ビバリーヒルズのザ・ビバリー・ヒルトンで開催されたイベントのホストは、俳優のダヴァイン・ジョイ・ランドルフが務めました。

今年のWIFオナーズは、エンターテインメント業界で「道を切り開く」女性たち、とりわけ、創意工夫、ビジョン、そして粘り強さをもって、ハリウッドをより良い方向へと転換させるための基盤づくりに貢献している女性たちが表彰されました。ミカエラ・コエルにジェーン・フォンダ・ヒュマニタリアン・アワードが贈られ、受賞者のコールに代わってレイク・ベルが、プレゼンターを務めたジェーン・フォンダから同賞を受け取りました。キンタ・ブランソンは、プレゼンターを務めたシェリル・リー・ラルフからクリスタル・アワードを授与、モデレーター役ワナー・ブラザーズ・テレビジョンの会長チャニング・ダンジーと対談しました。ジーナ・プリンス＝バイスウッドは、プレゼンターのヴィオラ・デビスから授与されたクリスタル・アワードを手し、ラシャーナ・リンチやスソム・ムベドゥと対談し、『バラエティ』のシニア・エンターテインメント・ライターのアンジェリーク・ジャクソンがモデレーター役を務めました。ケイティ・シルバーマンとオリヴィア・ワイルドは、フィルムメーカーのリード・モラーノから、また映画『シー・セッド その名を暴け』の制作チームプロデューサーのデデ・ガードナー、俳優のキャリー・マリガン、そしてジャーナリストのジョディ・カンターとメーガン・トゥヘイには、フィルムメーカーのミランダ・ジュライから、それぞれクリスタル・アワードから授与されました。WIFマックスマラー フェイス・オブ・ザ・フューチャー・アワード®を受賞したリリ・ラインハートには、マリア・ジュリア・プレツィオーゾ・マラモッティから同賞が授与されました。

ガラには、エイミー・ベア（WIF理事長）、マリア・バカローヴァ（俳優、『ボディーズ・ボディーズ・ボディーズ』（原題：Bodies Bodies Bodies））、レイン・エドワーズ（俳優、『ザ・ワイルズ』（原題：The Wilds））、キャスリン・ニュートン（俳優、『アントマン&ワズプ：クアントマニア』（原題：Ant-Man and the Wasp: Quantumania））、アディソン・レイ（俳優、『ヒーズ・オール・ザット』（原題：He's All That））、キルステン・シェイファー（WIF CEO）、シバニ・ラワット（WIF理事、シヴァンズ・ピクチャーズ創設者兼CEO）、ジャッキー・トーン（俳優、『GLOW』）、リサ・アン・ウォルター（俳優、『アボット・エレメンタリー』（原題：Abbott Elementary））など多数が参加しました。

イベントのハイライト：

- リリ・ラインハート（WIF マックスマーラ フェイス・オブ・ザ・フューチャー・アワード®の受賞スピーチにて）：
「世界はより良い方向に進化していると信じたいです。私は、将来の自分の娘を含め、これから生まれてくる女の子たちの世界が、今よりもっと優しく、穏やかな場所になるだろうと楽観視しています。やるべきことはまだまだありますが、私たちは、幸運にも、変化を実現することができる立場にあるのです。」
- シェリル・リー・ラルフ（受賞ステージ上で行われたクインタ・ブランソンとチャニング・ダンジーとの対談にて）：「あなたたちは、今は無視されているかもしれませんが、あなたたち自身が、自分が見えない存在ではないと自覚し、自分がすべきと思う方法でやるべき善い行いをきちんとやり続ければ、やがて注目されます。私を信じてください。20歳の今は、まだ誰の目にも留まらないかもしれないし、30歳でも、40歳でも、もしかしたら50歳でもまだ誰の目にも留まらないかもしれない。でも60歳になったら注目されるかもしれないのです！」
- ヴィオラ・デビス（ジーナ・プリンス＝バイスウッドにクリスタル・アワードを贈呈する際のスピーチにて）：
「ジーナ、私の33年のキャリアの中で、『ウーマン・キング』（原題：THE WOMAN KING）は私が最も誇りに思う作品よ。だって私たちの作品なのだから。そして、あなたには、この作品を完成させるための余地、ビジョン、才能、そして勇気があったのです。」
- オリヴィア・ワイルド（クリスタル・アワードの受賞スピーチにて）：
「ウーマン・イン・フィルム、そしてこうした組織の存在理由はまさに、私たちにコミュニティを与えたということです。そして、私たちにはこのようなコミュニティが必要だと思うのです。というのも、時として私たちは、意見に耳を傾けてもらうことが本当に難しく、頑張り続けることが本当に難しく感じられるからです。」
- WIFのCEOキルステン・シェイファー（ステージ上のスピーチにて）：
「私たちにはコミュニティが必要です。私たちは、常に同意見である必要はなく、同じビジョンを持つ必要もないのです。しかし世代を超えて活動し、集団的行動を取るべく、献身的に務めなければならないのです。そして、自分たちの業界の慣習を変えていくことに専念するのです。そのためのインスピレーションは、私たちの目の前にあります。今夜、私たちが表彰する女性たちこそ、インスピレーションそのものです。感動的で、楽しく、文化をも変革するパワーをもつ卓越したストーリーを伝えるために協力し合う女性たちです。」
- イベントには、リリ・ラインハート（マックスマーラ着用）、シェリル・リー・ラルフ（スポーツマックス着用）、スソ・ムベドゥ（スポーツマックス着用）、ジーナ・プリンス＝バイスウッド（マックスマーラ着用）、キャスリン・ニュートン（マックスマーラ着用）、マリア・バカローヴァ（スポーツマックス着用）、ダヴァイン・ジョイ・ランドルフ（マリナ・リナルディ着用）、チャニング・ダンジー（マックスマーラ着用）、マリア・ジュリア・プレツィオーゾ・マラモッティ（マックスマーラ着用）、アンジェリーク・ジャクソン（マックスマーラ着用）、キルステン・シェイファー（マックスマーラ着用）など多数のゲストがブランドに身を包んで登場しました。
- Lexus（レクサス）は、2023年型レクサスLX Fスポーツを展示し、ゲストはインタラクティブフォトブースで撮影を楽しみました。

WIFオナーズ委員会は、モニカ・レビンソンとタリサ・ワトキンスが共同委員長を務め、エスター・チャン（Esther Chang）、ミシェル・リー、イダ・ズイニティ（Ida Ziniti）の3人が委員を務めています。今年度のWIFオナーズは、毎年プレゼンティングスポンサーを務め、今年で19年目を迎えるマックスマラ、ビジョナリーパートナーのシヴァンズ・ピクチャーズとレクサス、そしてメジャーパートナーを務めるスターズにより支援が提供されました。イベントの企画・制作は、アンカー・ストリート・コレクティブのカーリーン・カペレッティが担当しました。

ウィメン・イン・フィルムとアワードについて

1973年「ウーマン・イン・フィルム、ロサンゼルス」として設立されたWIFは、映画業界で働く女性たちのキャリアを支持・推進し、平等と改革の文化を実現することを目指しています。カメラの前に立つセレブ、裏方のスタッフ、そしてさまざまな立場にある女性だけでなく、社会的に疎外されたジェンダーを支援する活動を行っています。

また、優れたパイプラインプログラムを通じて、文化を変革する活動を行い、研究、教育、メディアキャンペーンを通じてジェンダー公正を提唱するとともに、こうした目標を中心にコミュニティを構築しています。スクリーン業界に携わる人なら誰でも入会できます。詳細はウェブサイト（wif.org）をご覧ください。Twitter、Instagram、Facebook、YouTubeでウィメン・イン・フィルムの公式アカウントをフォローしてください。

1977年から、ウィメン・イン・フィルムでは、エンターテインメント業界の新たな分野を開拓し、素晴らしい実績を残した女性たちを表彰しています。これまでの受賞者にはトルシル・ボール、グレン・クローズ、ヴィオラ・デビス、ノーラ・エフロン、エヴァ・デヴヴァーネイ、ジェーン・フォンダ、オードリー・ヘプバーン、ニコール・キッドマン、ジェニファー・ロペス、マーリー・マトリン、ミラー・ナイル、ションダ・ライムズ、メリル・ストリープ、ゼンデイヤなどがその名を連ねています。

クリスタル・アワードは、1977年以来、その忍耐力と素晴らしい作品を通じて、エンターテインメント業界における女性の役割の拡大に貢献した優れた個人およびグループに贈呈されています。2019年、このアイコン的な賞は、その成功を通じて、カメラの前でも後ろでも、スクリーン産業全体で働く女性の地位向上のための機会の増加に貢献している人々のアドボカシー活動を称えるものとして再定義されました。

ジェーン・フォンダ・ヒュマニタリアン・アワードは、エンターテインメント業界における輝かしい地位を活かして抜本的な改革を促し、自らの影響力を使って問題啓発に取り組む女性たちに贈られる賞です。ウィメン・イン・フィルムでは、1979年以降、公民権運動家として知られる弁護士のパム・ザッキーにちなみ、ヒュマニタリアン賞を授与してきました。

マックスマラ (Max Mara) について

マックスマラは、創業者アキレ・マラモッティが1951年に創業。イタリアのラグジュアリーとスタイルの最高峰として、不動の地位を確立しています。現代を生きるパワフルな女性に向けたプレタポルテとアクセサリーのコンテンポラリーなコレクションをそろえています。マックスマラを象徴する時代を超越したデザインと贅沢なファブリック使い。中でも、絶対的存在のコート、シャープなスーツ、モダンなアクセサリーは、絶大なる支持を受けています。世界100か国以上の2,500のショップで商品が販売されています。マックスマラのファッショングループは、9つのブランドで構成されています。現在も、株式非公開企業として、マラモッティ一族が経営に携わっています。

シヴァンズ・ピクチャーズ (ShivHans Pictures) について

シヴァンズ・ピクチャーズは、プロデューサーのShivani Rawatが設立した制作会社で、ハリウッドの規格にとらわれず、優れた長編映画を独自の方法で制作・出資を行っています。資金調達のプロセスを合理化することで、インディーズ

系映画製作者のビジョンを全面的に支援、一流の才能を持つ人々とのコラボレーションを実現しています。ジョナサン・ヘンズリーが監督を務め、リアム・ニーソンとローレンス・フィッシュバーンが出演した Netflix『アイス・ロード』(CODE Entertainmentとの共同製作)、デヴィッド・オイエロウォが監督と主演を務めた『ウォーターマン』(RIJE Films)、アーロン・ソーキンがアカデミー賞にノミネートされた『シカゴ7裁判』(Netflix配給、Shivani Rawatはエグゼクティブプロデューサーを務める)、タラ・ミーリ監督、シエナ・ミラーとディエゴ・ルナ主演の『ワンダー・ダークリー』など数々の作品を手がけています。過去の作品では、『Dearダニー 君へのうた』、アカデミー賞ノミネートの『トランボ ハリウッドに最も嫌われた男』、同じくアカデミー賞ノミネートの『はじまりへの旅』、『ベイルート』(いずれもBleecker Street配給)、『ポルカ・キング』(Netflix配給)などがあります。2019年、シヴァンズ・ピクチャーズはBleecker Streetと共同で配給事業を展開し、同社がプロデュースした『ホテル・ムンバイ』や『ブライアン・バンクス』などの作品をリリースしています。今後は共同配給作品として、アカデミー賞を受賞したガイ・ナティーフ監督の伝記映画「ゴルダ」(ヘレン・ミレン主演)などが予定されています。シヴァンズ・ピクチャーズ、同社の今後のリリース作品については、www.ShivHans.com をご覧ください。Instagram/Facebook/Twitterの公式アカウント (@ShivHansPics) でも最新情報をアップしています。

レクサス (Lexus) について

大胆なデザイン、想像力豊かなテクノロジー、鮮やかなパフォーマンスを追求するレクサスは、顧客に素晴らしい体験を提供するラグジュアリーなライフスタイルブランドとして地位を確立しています。1989年、ラグジュアリーセダンと理想を追求する情熱と共に、旅を始めたレクサス。その後、世界90か国以上のラグジュアリー志向のお客様のニーズに合わせ、グローバルなラインナップを展開してきました。米国では、レクサスは、高級車のフルラインアップを揃える241の代理店で販売されています。レクサスハイブリッドドライブを搭載した6つのモデルを展開し、ラグジュアリーハイブリッドのリーダーとして世界中で愛されています。また、「F スポーツ」を8機種、「F パフォーマンス」を2機種そろえています。レクサスは、ラグジュアリーを追求するお客様のために、未来を先取りするビジョナリーブランドとなるべく、取り組みを続けています。

スターズ (STARZ) について

ライオンズゲート傘下のスターズは、世界有数のメディアストーリーミングプラットフォーム。女性および少数派代表グループに属するオーディエンスによる、女性および少数派代表グループについての、女性および少数派代表グループのためのストーリーを広く語ることを目的とする、プレミアムコンテンツの配信に努めています。スターズは、世界初の試みとして高く評価される、スターズプレミアムコンテンツのストーリーミングやダウンロードを可能とするスターズアプリを運営しているほか、スターズアンコール、17のプレミアム有料テレビチャンネル、関連オンデマンドおよびオンラインサービスを含む国内の旗艦サービスSTARZ®を展開しています。2018年、スターズは、国際的なプレミアムストーリーミングプラットフォームであるスターズプレイを立ち上げました。現在はライオンズゲート+と名称変更された同チャンネルでは、厳選された大胆なストーリーテリングへのアクセスを加入者に提供しています。ライオンズゲート+は、中東・北アフリカ地域のスターズプレイアラビアのジョイントベンチャーおよび南・東南アジアのライオンズゲートプレイと併せて、世界各地を拠点として広く事業を展開しています。スターズとライオンズゲート+は、世界中のケーブル事業者、衛星テレビ事業者、通信事業者を含むデジタルOTTプラットフォームとマルチチャンネル映像配信事業者を通じて視聴可能です。2021年2月、スターズは、スクリーン上、撮影の舞台裏、そして会社全体の代表性を向上させるための既存の取り組みを拡大した、多面的かつ革新的なインクルージョン活動である#TakeTheLeadイニシアチブを立ち上げました。